



子宮頸がんを予防しましょう

子宮頸がんってどんな病気?

子宮の入り口である頸部の上皮（表面の細胞）に発生するがんで、発症率、死亡率ともに高くなっています。罹患者の低年齢化が進み、近年では、20歳代後半から30歳代の方が、特に多く発症しています。

子宮頸がんは、「定期的な子宮頸がん検診」と「子宮頸がん予防ワクチン接種」で早期発見・予防が可能ながんです。多くの女性が子宮頸がんの原因となるHPV（ヒトパピローマウイルス）に感染しますが、定期的に検診を受けていれば、がんになる前の段階で発見でき、この段階で治療をすれば、子宮を失うことなく完治が可能です。

子宮頸がん検診

市では、20歳以上の女性を対象に「子宮頸がん検診」を実施しています。集団検診、個別検診については、国の指針に基づき2年に1回の検診です。（集団検診は6・7月、個別検診は9～12月に実施）

また、20歳から40歳までの5歳ごとの年齢の方を対象に、無料検診を実施しています。（対象者には無料クーポン券を5月下旬に郵送します）

子宮頸がん予防ワクチン

「子宮頸がん予防ワクチン」は、平成25年度から定期接種となります。接種対象は12歳から16歳までの女子です。（年齢基準日は平成26年4月1日。くわしくは8ページをご覧ください）

ただし、子宮頸がん予防ワクチンを受けていても、将来、子宮頸がんになる可能性はあります。ワクチン接種を受けた方も、20歳になったら定期的に子宮頸がん検診を受けましょう。

※40歳代後半から60歳代にかけて、子宮体がんになるリスクが増加します。子宮頸がん検診で「異常なし」であっても、自覚症状がある場合は、早めに医療機関で受診してください。

問い合わせ 市民安全部健康課（中央図書館2階）
☎42-2800/43-0432

～4月23日は「子ども読書の日」～

家族みんなで図書館へ行こう!

待ち遠しかった春がやってきました。図書館には、新生活に役立つ本、お花見の本、そろそろ始めたいガーデニングの本、ゴールデンウィークに出かけたい旅行の本など、春にぴったりの本がたくさん揃っています。

また、子どもたちが夢中になれる本もたくさんあります。絵本や物語、宇宙、恐竜、電車、折り紙やクイズの本など、子どもたちの興味は限りなく広がります。

このほか、図書館では、子どもたちへのおはなし会も行っています。

4月23日は「子ども読書の日」。この機会にぜひ、ご家族そろって図書館へお越しください。

図書館に出かけよう!



こんな本あんな本

『中世の播磨と清水寺』

河村昭一/著

加東市の御嶽山山頂にある清水寺に伝えられる文書を読み解き、中世をたくましく生き抜いてきた清水寺の姿を描く1冊。



この本は、パソコンや携帯電話で、図書館ホームページから予約できます。

図書館での行事 ～絵本のおはなし会など～

行事名	日時	場所
「ピッピ」のおはなし会	4月6日(土) 14:00～	中央図書館
めるへん教室	4月7日(日) 14:00～	やしろ国際学習塾(3階第2会議室)
としょかんの おはなし会	4月13日(土) 15:00～	滝野図書館
	4月19日(金) 10:30～	中央図書館
	4月20日(土) 14:00～	
「ぐりとぐら」絵本の時間	4月16日(火) 10:30～	

■中央図書館(☎42-8000)
休館日/月曜日

■滝野図書館(☎48-3003)
休館日/月曜日、4/30

■東条図書館(☎47-6050)
休館日/水曜日、4/30

■図書情報センター(☎40-2004)
休館日/水曜日、4/30